

1. 学習項目

かけ算 2 / 6 の段ん

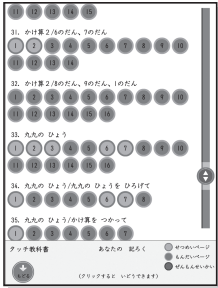
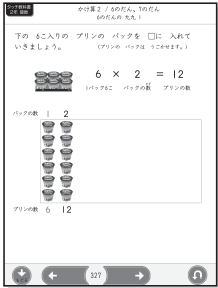
2. 本時の目標

- ・ 乗法について成り立つ性質を用いて、6 の段を構成することができる。
- ・ 6 の段を繰り返し練習し、覚える。

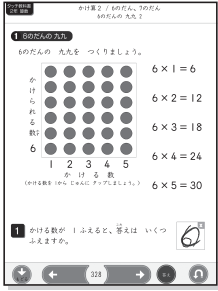
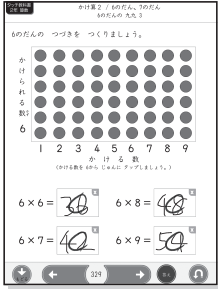
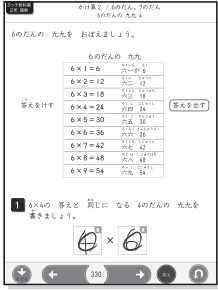
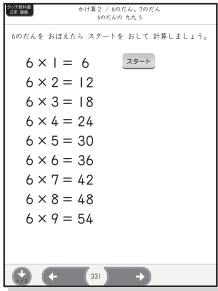
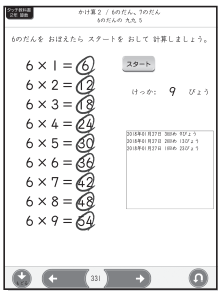
3. 本時の展開

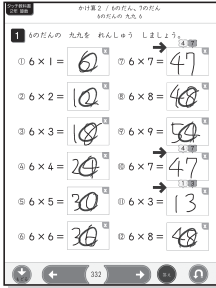
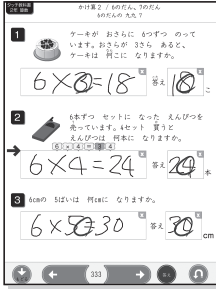
「タッチ教科書」をこの学習で使うポイント

- ・ タブレットを使って学習することにより、興味をもって学習に取り組むことができる。
- ・ 6 ずつ増える変化が視覚的に分かりやすいので、児童一人ひとりが、かけ算の意味を理解し、6 の段の特徴をつかむことができる。
- ・ タイムを各自で測れるので、何度も繰り返して練習し、早く覚えることができる。

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
つかむ	この学習は、タブレットを使うことによってかけ算の6の段の特徴を理解させ、6の段を繰り返し練習して覚えさせることを目標にしています。  スタート画面	「今日はタブレットを使って、かけ算の6の段の学習をします。」 「今まで2の段から5の段までを学習しましたね。6の段もがんばりましょう。」	「タブレットを使うのは楽しみだな。」 「今までやった2の段から5の段と似ているのかな。」
	 記ろく	「それでは、タッチ教科書の【記ろく】をタップして、31の2をタップしましょう。」	
見通しをもつ	 P.327 プリンを2パック動かしたところ	「上にある6個入りのプリンのパックを動かして、下の枠に入れましょう。」 「上の式はどうなりましたか？」 「では、もう1パック動かしてみましょう。式と全部のプリンの数はどうなりましたか？」 「パックの数が1ふえるごとに、全部のプリンの数は何個ずつ増えますか？」	「わあ！6個が1列にサッと並んだよ！」 「$6 \times 1 = 6$になりました。」 「$6 \times 2 = 12$。全部で12個です。」 「×ボタンを押すと、数字を消して書き直せるよ。」 「プリンは6個ずつ増えます。」 「動きがあるから、分かりやすいね。」

memo

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
見通しをもつ	 P.328 かける数を5までタップしたところ  P.329 解答後答え合わせをしたところ	「328ページに進みます。」 「6の段の九九をつくりましょう。“かける数”の青い数字を1から順にタップしましょう。そして、右に出てくる式をみんなで読みましょう。」 「答えはいくつずつ増えますか?青い線の四角の中に書きましょう。」 「329ページに進みます。」 「“かける数”の青い数字を、続きの6から順にタップしましょう。そして下の青い線の四角の中に答えを書いていきましょう。」 「では次の330ページに進みましょう。」	「$6\times 1=6$, $6\times 2=12$,…」 「6ずつ増えます。」 「変化が目で見えて分かりやすいね。」 「36, 42, 48, 54です。」
確かめる・練習する	 P.330 「答えを出す」をタップしたところ  P.331 スタート前  P.331 3回目が終わったところ	「では、6の段の九九を覚えましょう。」 「“答えを出す”をタップすると答えと読み方が出ますので、声に出して読んで覚えましょう。覚えられたら“答えをけす”をタップして、覚えられたか確かめましょう。」 「下の問1に答えて、答え合わせボタンをタップしましょう。」 「331ページに進みます。」 「もう一度6の段を声に出して2回読みましょう。」 「さあ、6の段を何秒で答えられるか、タイムを計ります。スタートボタンをタップすると、1～0のボタンが現れます。答えのボタンをタップしましょう。」 「間違えた時は水色のやりなおしボタンをタップします。最後の6×9を正解すると結果の秒が出ます。先生が終わりの合図をするまで、何度も挑戦して、タイムを縮めましょう。では、始めましょう!」 「はい、そこまで。最高タイムは何秒でしたか?」 「よくがんばりましたね。」	「よーし、がんばるぞ!」 「ろくいちが6、ろくに12、…」 「よし、覚えた。自分でテストしよう。」 「6×4と同じになるのは、4×6だ。」 「ろくいちが6、ろくに12、…」 「ろくいちが6、ろくに12、…」 「よーし、がんばるぞ!」 「1回目、25秒だ!次はもっと速くやろう。」 「2回目、タイムが縮まったよ。」 「よし、次も集中して。」 「最高15秒でした。」 「私は、10秒でした。」 「全部で25回やりました!」

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
確かめる・練習する	 P.332 解答後答え合わせをしたところ  P.333 解答後答え合わせをしたところ	「では、332ページに進みます。」 「かけ算の答えを青い線の四角の中に入力しましょう。できた人は、下の答え合わせボタンをタップしましょう。」 (児童は、各自答え合わせをして進んでいくので、教師は机間巡視をして、つまづいている児童を支援する。) 「では次の333ページの文章問題を解いていきましょう。よく考えて、式と答えを書きましょう。」 「さあ、全部合いましたか？」	「さっき何度もやったので、ほとんど覚えられたよ。」 「6×7は何だったかな？」 「全部合ったよ。」 「3つ間違えた。×ボタンをタップして、書き直そう。」 「同じ数ずつ何セットとか、何倍とかいう問題は、かけ算だね。」 「式が分かれば、今日覚えた6の段の九九で、すぐ答えを出せるね。」 「丁寧に書かなくっちゃ。」 「はい、全問正解です！」
まとめる		「今日はどんなことを学習しましたか？」 「最後に6の段を声に出して3回言いましょう。」 「タブレットを使って学習したので、みんな一人ひとりが6の段を何度もやって覚えられましたね。」 「これからも算数の学習をがんばりましょう。」	「かけ算の6の段です。」 「6の段は、かける数が1増えるごとに、答えが6ずつ増えることを学習しました。」 「ろくいちが6、ろくに12、…」 「ろくいちが6、ろくに12、…」 「ろくいちが6、ろくに12、…」

memo